

日本リスク研究学会 第3回理事会 議事録

日時： 2010年11月26日（金） 16時～18時45分

場所： 明治大学駿河台キャンパス

出席予定者：長坂会長、甲斐副会長、片谷理事、久保理事、関澤理事、前田理事、村山事務局長

オブザーバー：深田監事

1. 理事会の成立

長坂会長から理事全員の出席を得て理事会が成立することが宣言された。

2. 議事録署名人の選任

議事録署名人として、甲斐副会長、村山事務局長の2名が選任された。

3. 前回議事録の承認

内容を一部修正したうえで、承認された。

4. 報告事項

(1) 会員の異動および会費納入状況を確認した。

(2) 委員会等活動報告

1) 甲斐副会長から編集委員会の活動状況および学会誌の編集状況について報告があり、学会誌が J-STAGE により公開されたことが紹介された。なお、投稿システムに関する当面の対応が課題となっていることが紹介された。

2) 久保理事から今年度の年次大会の準備状況について報告があった。また、次年度の大会開催地について議論し、関東圏以外の地域での開催を優先することを確認し、候補として静岡大、滋賀大などが挙げられた。

3) 前田理事から情報管理委員会関連の活動状況について報告があり、メーリングリストが再開されたこと、ニュースレターの発行を準備していることが紹介された。

4) 片谷理事から表彰委員会の活動について報告があった。いずれの賞についても昨年度と同様の手続きで選考を進め、学会賞は東海明宏大阪大学大学院教授、大会発表論文賞は「食品安全ガバナンスの再考－制度設計の国際比較からの考察」（松尾真紀子氏）、「当事者意識と事業の安全性の評価－ウラン鉱山跡措置に関する市民アンケート調査－」（石坂薫氏ほか）の2論文に授与すること、また、奨励賞については該当者なしとすることを決定した。なお、大会発表論文賞の選考方法について成文化を含めて検討する予定であることが合わせて報告された。また、論文賞の創設も視野に入れて検討してほしいという意見が出された。

5) 関澤理事から、リスクマネージャ認定委員会の活動状況について報告があった。今後、規

程を整備するとともに、リスクマネジャやプログラムの定義を検討することが確認された。また、リスクマネジャの事務委託に関して、過去の業務量を確認したうえで、生協学会支援センターに打診することとなった。

6) 長坂会長から渉外委員会の活動状況について報告があった。

7) 村山事務局長から会計の支出状況について報告があり、中間監査が12/9(木)に実施されることが紹介された。また、理事会出席のための宿泊を含めた旅費に関する細則を整備することが確認し、具体化を片谷理事に依頼することとなった。さらに、人件費については、以下の点が確認された。

- ・当面の対応として時給単価を学部生900円、大学院生1000円とすること。
- ・時給単価に関する規程も、いずれ会計規則に含めること。
- ・出勤簿は勤務日と勤務時間が明記されていること。

また、前回の理事会で承認された会計システム導入及び会計事務所への業務委託について、今年度に関しては事務委託先の生協学会支援センターにおいて会計を含めた事務を委託し、来年度以降に会計管理のみ他の箇所へ委託するかどうかを検討することとなった。

8) 片谷理事より、公益法人化への移行に向けた検討状況について報告があった。その中で、検討課題として残されている部分について確認があった。

(3) その他、以下の事項について報告があった。

1) 前回の理事会で名誉会員への推戴を決定した池田三郎会員、大島輝夫会員より本人の承諾が得られたことが村山事務局長より報告があった。

2) 前回の理事会以降メールにより審議された以下の事項について、確認した。

「2010年度の学会賞・奨励賞の受賞者」 2010.11.4 付議 11.7 承認

「2010年度の大会発表論文賞の受賞者」 2010.11.25 付議 11.25 承認

「年次大会における特別共催ワークショップの開催」 2010.11.25 付議 11.25 承認

5. 審議事項

(1) 会員の入退会

長坂会長より入退会の状況について報告があり、承認した。なお、一部の新入会員への連絡状況について、事務局に確認することとなった。

(2) SRA Regions Committee への報告内容

前田理事からSRAの年次大会の際に開かれるRegion Committeeでの報告内容について提起があり、来年度の年次大会において実施を検討している国際セッションのより具体的な内容について検討した。今後、関澤理事と前田理事を中心にさらに具体化を図ったうえで、再度審議することとなった。

(3) JRR 年会費値上げに伴う会費の変更

村山事務局長から来年からJRRの発行回数が現在の年6回から年8回に増加することに伴い、費用が増額されるという打診があったことが報告され、これへの対応について審議した。その結

果、以下の点について確認された。

- ・来年度については年会費を増額しない。
- ・今後、会費と購読料の区分けを明確にし、値上げを含めた内容を総会に提案する。

(4) 競争的研究資金の取扱いに関する規程ほか関連規程の整備

関澤理事から競争的研究資金の取扱、利益相反、研究倫理の3つの規程案について紹介があり、これらの規程の必要性について確認し、大学での規程を参照しながら、規程の作成に向けて継続審議とすることを確認した。

(5) 来年度春季のシンポジウムの企画（2011年6月3日開催予定）

2011年度春季のシンポジウムについて審議し、テーマ案として以下の候補が挙げられた。

- ・ISOによるリスクマネジメントの規格化を軸に、甲斐副会長に具体化を依頼する。
- ・その他の候補として、高レベル廃棄物の地層処分も上がった。

(6) 次回の日程

次回の理事会を、2011年3月3日（木）13:00～17:00（予定）に早稲田大学西早稲田キャンパスで行うことが確認された。

以上